



写真1

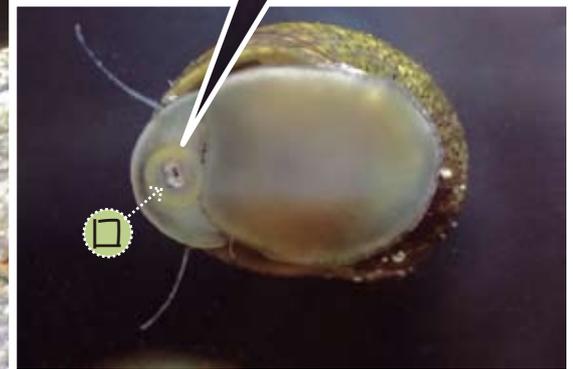
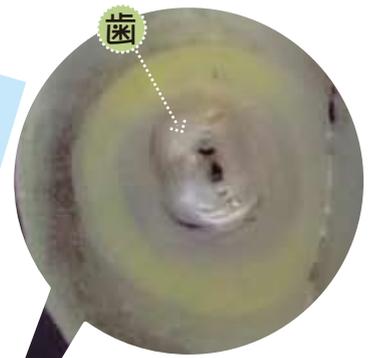


写真2

今回は、水槽掃除のお話です。水槽の生物をいきいきと見せるためには、照明は欠かせません。しかし、光を利用するコケが生える原因にもなっています。水槽のガラスのコケ掃除は、2～3日に1回はする必要があり、ちょっとでもさぼると見苦しい水槽に早変わりです。また、2週間に1回程度の水換えを行い、古い水と底のゴミを吸い出すことで、水質の悪化を防いでいます。

このような作業は結構大変なのですが、mini・mini 水族館の「汽水域の生き物」水槽は、半年以上コケ掃除と水換えをしません。なぜ掃除いらすかと言うと、水槽に入れている「イシマキガイ」という巻貝(写真1)が掃除をしてくれるからなのです。

イシマキガイは海水の混じる河口域にすみますが、少し上流の淡水域にも見つか

ります。イシマキガイのエサは石に生えたコケで、専用の歯でコケをかきとって食べます。水槽にはこのイシマキガイを20個体ほど入れていますので、せっせとコケを食べて常にガラス面はきれいに保たれているという分けです。写真2は、ガラス面に口を押し当ててコケを食べている様子です。また、特別にエサを与える必要がありませんので、水槽の水はそれほど汚れることもなく、水換えも不要なのです。

大きさ1cmほどの小さな巻貝ですが、私にとっては掃除を肩代わりしてくれる偉大な存在なのです。

